

第2回 横浜市スポーツ医科学センター指定管理者選定評価委員会 議事録	
日 時	令和2年7月28日(火) 18:30~20:00
開 催 場 所	横浜市役所 18階会議室 なみき14・15
出 席 者	高橋委員、横溝委員、沖野委員、大野委員
欠 席 者	河合委員
開 催 形 態	非公開
議 題	1 委員長の選出 2 プレゼンテーション及びヒアリング 3 審査及び指定候補者の選定について 4 選定結果報告書について
決 定 事 項	横浜市スポーツ医科学センターの指定候補者として、公益財団法人横浜市スポーツ協会を選定した。
議 事	<p>1 プレゼンテーションの前に、前回委員長に選出された河合委員の欠席に伴い、委員長の選出を行い、高橋委員が委員長に選出された。</p> <p>2 申請団体によるプレゼンテーションを行い、その後質疑応答が行われた。</p> <p>【主な質疑】</p> <p>委 員：第3期指定管理期間での新規提案事項の進捗状況として、16区のスポーツセンターで膝腰MEC(メディカル・エクササイズ・コース)が受診できる環境を整備したとある。横浜市は18区だが、残りの2区はどうなっているのか。</p> <p>申 請 団 体：当該2区については、別の団体が指定管理を受託している。広く連携することを検討しているが、まずは当団体が指定管理を受託しているスポーツセンターとの連携を進めているところである。</p> <p>委 員：利用料金収入について、前年度比で増収になる見込みで予算を組んでいるが、新型コロナウイルスの影響で今後下方修正することを検討しているか。</p> <p>申 請 団 体：新型コロナウイルスの影響が見通せない状況ではあるが、現時点では、下方修正は考えていない。通常3枠のMECを現在は2枠で実施しているが、残りの一枠分で特定保健指導等、他の事業を実施するなど、収益を維持する工夫を検討している。</p> <p>委 員：第1期から第3期までは、ひたすら「成長」だったが、第4期は「成長」から「成熟」へ方向転換するという提案だったように思う。「成熟」とはどのような意味合いで言われているのか、あるいは、提案内容のどのような部分で「成熟」を示しているのか。</p> <p>申 請 団 体：SPS(スポーツプログラムサービス)については、広報等を実施し、今後も量的な増加を見込んでいる他、企業型SPS等、SPSのバリエーションを増やし、時代のニーズに即した、あるいは時</p>

代の半歩先に行くプログラムを提供することを検討している。
MECについても、各区スポーツセンターでの実施の拡充等、より市内の各所で（スポーツ医科学センターの開設から）22年間の蓄積を提供することを考えている。こうしたことを「成熟」の1つと捉えている。

委員：リハビリテーションの目標利用者数が5万人で、今後5年間横ばいとなっているが、これが限界値ということか。

申請団体：診療室のベッドの関係で、1日に診察できる人数は通常200人程度だが、現在は新型コロナウイルス対策として、2mないし1mは間隔を空けざるを得ない。当面は3密の回避等の工夫をしながら診療することになるため、試算が難しいところだ。

委員：事故防止体制の部分に防犯カメラの設置と心肺蘇生訓練の実施とあるが、訓練はどれくらいの頻度で実施しているのか。一度訓練しただけで身につけることは難しいため、継続的に訓練を実施する必要がある。

申請団体：事務部門の職員については、日産スタジアムでの合同訓練が年に2回ほどあり、そのなかで人工呼吸、AEDを使用しての心肺蘇生等の訓練を行っている。その他、施設の休館日を利用して、有事の際にAEDを使えるよう、スポーツ医科学センター単独での訓練を実施している。また、防犯カメラについては、現在24時間録画しており、万が一盗難等があった場合は、個人情報開示の手続きに基づき、必要な部分の映像を警察に提供し、捜査に協力する。

委員：防犯カメラはいつ設置したのか。

申請団体：第3期の最初に設置した。

委員：訓練は定期的に行うことが重要だと思うので、今後とも定期的に実施していただきたい。

委員：特定保健指導について広めていく必要があるが、実際には難しい面もある。保健活動推進委員として、今後協力していきたい。

申請団体：こちらとしても連携を深めていければと思う。

委員：指定管理期間の収支計画を見ると、人件費の増に伴い指定管理料は増加しているが、自主事業は横ばいとなっている。自主事業については、増収は見込めないのか。

申請団体：新型コロナウイルスの影響で、全体のキャパシティが変わっている。現在、SPS、MEC等の指定管理事業を広いスペースで実施しているため、自主事業を行うスペースが確保できない面があ

る。自主事業については、この状況下で費用対効果も考慮して、どのような形で実施するか検討中である。そのため、目標数値は横ばいだが、内容の工夫を図り、時間帯が利用者ニーズと一致していない部分の見直しも行い、提案書に記載した数値を維持できるようチャレンジしていきたい。

3 審査及び指定候補者の選定について

各委員の最終評価を集計した結果、最低基準である7割を超えており、申請団体の運営状況、事業提案が良好と認められるため、横浜市スポーツ医科学センターの指定候補者に「公益財団法人横浜市スポーツ協会」を選定した。

【評価結果】

指定候補者	評価点／満点
公益財団法人横浜市スポーツ協会	533点／600点

4 選定結果報告書について

委員長に一任することとした。